



中部ブロック予選会、女子は大健闘 男子はシード権を落とす

インターハイ中部ブロック予選会が開催された。以下選手と試合結果。

3年 國友颯真・石井晃徳・川崎国生・三島康大
谷口大稀・末松 聖 2年 杉野琥大

●1回戦 対 東海大福岡

谷口	分け
末松	負け
石井	分け
國友	負け
川崎	負け



東海大福岡は実力があるものの、練習試合で何度も対戦し、手の内を知り尽くしている相手。先鋒谷口は攻めていたが、なかなか1本が遠く、引き分けとなる。次鋒末松は上段相手に落ち着いて試合をしていたが、ふと合わせた場面に面を決められて先取されてしまふ。そこから焦った試合となり、流れが悪いまま1本負けとなってしまった。中堅石井が流れを変えたいところ。攻めは良かったが、ここの一番で勝負をかけることができず、4分間があつという間に時流れていく。結果1本を拾うことができずに引き分けとなった。副将の國友は、安定した試合をしていたが、試合終盤にフェイントから面に入った所が相打ちとなり、相手に旗が3本上がる。まさかの展開。取り返さなければ敗退となるため、必死に取り返しに行ったが、相手の守りも固く、試合終了。大将に回ることもなく敗退となつてしまった。大将戦は勝ちを収めたいところだったが、相手に上手く乗られ、1本勝ちを許す。結果として、0-3の大敗となつてしまった。男子は今回こそ表彰台へと挑んだ試合だっただけに、非常に悔しい結果となつてしまった。しかし、それは生徒が一番感じていることだろう。3年生の残る試合は玉竜旗大会しかない。最後の大会ということで、今までやってきた稽古の成果が十分に発揮されるよう、今から準備をしていきたい。指導者として、もうひとつ勝たせられるように、私自身も日々勉強に励みたい。

女子の選手と試合結果。

3年 本多美佐都・中村明愛・武久月子・毛利咲月
2年 洲上咲紀・山口樹音 1年 西濱 凧砂

○1回戦 対 太宰府 ●2回戦 対 中村学園

武久	メメ	勝ち	武久	分け
毛利	○○	勝ち	毛利	分け
洲上	○○	勝ち	洲上	負け
中村	メ	勝ち	中村	負け
本多	メメ	勝ち	本多	負け

1回戦目の太宰府は相手3人で、不戦2となり、なんなく勝利を収めた。試合に出た3名の選手も積極的に技を出し、いい試合を展開した。続く2回戦。相手校は王者中村学園、全国大会出場の常連校であり、何度も日本一を経験している学校。組み合わせが決まった段階で、生徒達には悔いの残らない試合をしようと徹底的に試合の場面を想定した練習を行った。期待の一戦。先鋒武久は自分のペースで積極的に攻め、本当に良い試合を見せてくれた。次鋒毛利も武久に続き、今までの試合以上の気迫を見せ、技を出し会場を沸かせた。完全に流れは筑前のペースとなつていた。続く中堅戦。洲上も気迫のこもった試合をし、惜しい技を連発。会場に応援の音が響き渡り、またしても良い雰囲気の中試合が進んだ。1本になつても良い技がいくつかあつたが、残念ながら旗は三本上がらず、逆に相手が上手さを見せた所の打ちが決まり、先制を許した。結果は負けしたが、内容では勝っていた試合ではなからうかと考える。相手副将・大将の選手は高い実力を持つているが、そこに張り合う気迫と打ちを中村・本多は見せてくれた。結果としては、2本負けではあつたが、良い試合を見せてくれた。女子も玉竜旗を残すだけとなつたが、今回の経験を十分に活かし、自分達の夢を叶えてもらいたい。



男子個人

- 國友 4回戦敗退 (常葉 椿原)
- 川崎 1回戦敗退 (福翔 田中)
- 石井 2回戦敗退 (宗像 村上)
- 末松 2回戦敗退 (九州産業 宮本)

女子個人

- 本多 1回戦敗退 (福翔 重松)
- 武久 2回戦敗退 (筑紫 中山)
- 中村 4回戦敗退 (福岡第一 佐藤)
- 毛利 1回戦敗退 (西南学院 西ノ原)

個人では、残念ながら県大会出場はならず。3年生は力はついたが、やはり中部ブロックで勝ち上がるのは困難なことである。この悔しさをバネに、1・2年生は次回新人戦で、県大会・九州大会を目指して頑張ってもらいたい。そして、これからは玉竜旗に向けて動き出す。次こそは、良い結果を報告できるように頑張れ！

惜しかった。あと少し！
次は玉竜旗！



どん底を味わってこそ、人は強くなる。